

立ち止まって心安らぐ場所になってほしい 休憩スペースを自宅の庭に手作り

牛淵地区の大北菊美^{きくみ}さん(91)が自宅前を休憩スペースにDIYしました。10年ほど前から始めて全てが手作り。黄色いコレオプシスの花が綺麗に咲いています。大北さんは「通る人が心安らいでくれたら嬉しい。自由に座って休憩してほしいです」と笑顔で話しました。



未来ある子どもたちのために 建設業者組合が奨学金基金に寄附

東温市建設業者組合(代表:南條秀樹^{ひでき}さん)が7月2日、市に50万円を寄附しました。寄附金は、成績優秀でありながら経済的な理由により高校進学が困難な子どもたちに対する奨学金基金の財源として活用されます。寄附金を受け取った八木教育長は「未来ある子どもたちのために使わせていただく。ご好意に感謝したい」と述べました。

毎月恒例のお楽しみ 志津川木曜サロンで短冊作り

志津川集会所で開催された木曜サロン(主催:社会福祉協議会)で、参加者が笹飾りや短冊作りを通して交流を楽しみました。志津川婦人会の皆さんが作ったお菓子に、参加者は舌鼓を打ちました。参加者からは、「地域の人たちのおかげで、いつも楽しく過ごすことができる」と喜びの声が聞かれました。



大きなあれ 秋が楽しみ! サツマイモの苗植え

6月22日、南吉井保育所で園児たちがサツマイモの苗植えを行いました。園内の一角に作られた畑で、手を汚しながら一生懸命穴を掘って苗を植えていきます。子どもたちは最後に「大きなあれ〜」と願いを込めて水やりをしました。「サツマイモ早く食べたいね」と、秋の収穫を楽しみにしていました。

Interview



東谷小学校4年生 高須賀 一花^{いちか}さん

地域を伝える新聞

新聞づくりで難しかったのは、文章です。頑張って親切な林内さんのことをまとめることができたかなと思います。林内会では、一緒に芝桜を植えました。大きくなって河之内で暮らしたいです。



東谷小学校で地域学習 地域の偉人「近藤林内」を新聞に

東谷小学校3年生から5年生の皆さんが、地域の偉人「近藤林内」を調べた新聞を作成しました。この地域学習は、同学校の学校運営協議会(コミュニティ・スクール)で「地域のことを子どもたちに知っ

てほしい」と地元から意見が出たことがきっかけで始まりました。新聞には地域に住む近藤の苗字をもつ世帯数や白猪の滝への道のりなど、河之内ならではの情報が記載されていました。

夏がはじまるよ! 放課後わくわく教室でかき氷づくり

子どもたちの笑顔が弾けたのは、北吉井小学校で開催された放課後わくわく教室(主催:生涯学習課、協力:横河原いずみ会)の一場面。昔ながらのシロップをかけてかき氷を手作りしました。子どもたちからは「冷たくて美味しい!」と声が上がりました。楽しい夏休みですが、感染対策を取りながら元気に過ごしましょう!



職業人から学ぶ集会 愛媛FC河原コーチが中学生へ語る

2019シーズンで引退し、昨シーズンから愛媛FCアカデミーコーチとして活動する河原和寿^{かずひさ}さんが6月25日、重信中学校の「職業人から学ぶ集会」で熱く語りました。自身の経験を踏まえ、夢や目標を持つこと、目標のために努力を惜しまないことの大切さを伝えた河原コーチ。集会後は各クラスを回り、生徒たちに声をかけていました。



1_滑川渓谷に入ると一面に広がる緑。／2_歩道が整備されているので子連れでも歩きやすい。／3_奥の滝は圧巻の雄大さ。／4_周囲が岩と木に囲まれる不思議な空間。／5_無人販売所「ほぼ滑川」には“ほぼ”地元の農産物が揃う。／6_旧滑川小学校跡地に整備された研修棟「滑川清流の森」。キャンプ場、炊事場完備。☎生涯学習課 ☎964-1500／7_水の流れが緩やかな場所ではナメラの上を歩くことができる。



Interview

桑原 陽子 さん (ようこ) / 実優 ちゃん (みゆ) / 優理 くん (ゆうり) / 優明 くん (見奈良) (ゆうめい)

知らなかった東温市の自然

数年前に東温市に引っ越してきて、初めて滑川を訪れました。普段の生活ではできない経験で、子どもたちも大満足!大きくなって、行きたいと思える場所でした。

夏の滑川 Namegawa

国道11号線を車で西条方面へ30分程。自然豊かな滑川の地域に滑川渓谷があります。滑川渓谷は、4千年前の地質が今も残る東温市の秘境。長い年月をかけて浸食された砂礫岩の独特な岩肌や、全長1kmに及ぶナメラと呼ばれる美しい川床。流水によって小石が川床にあるくぼみを削ってできた甌穴(おけつ)など豊かな自然が広がります。